20歳になつた国民年金

あめ玉年金から大きく成長

—長谷川さんたちに感謝状—

市と市の国民年金委員協議会（長谷川喜蔵会長）は、十一月九日、中央公民館で国民年金二十周年記念大会を開きました。

記念大会には、国民年金委員や年金保険料納付組合長などが集まり、これまで国民年金の普及などに努力された十一人の年金委員に、長谷川会長から感謝状が贈られ、アトラクションや講演会で幕を閉じました。

国民皆年金を目標に、国民年金制度が発足したのは、三十四年の十一月で、それ以来二十年が経過し、年金制度もすっかり定着しました。

年金制度発足当時は、「あめ玉」年金などと、ささやかれましたが、現在、福祉年金の月額は二万円、老齢年金の十年年金月額は二万四千七百円と、大幅に増額されました。

最初から年金に加入して、二十五年間保険料を納付した人に対する年金月額は、現在三万九千円と算定されています（六十五歳で受給の場合）。

年金は、五年ごとの見直しや物価スライド制などによって、今後もいっそう充実されてゆきます。

ここで、二十周年を迎えた市の国民年金の状況についてお知らせします。

九月現在で、国民年金の加入者は、男四千三百三十六人、女六千二百六十八人、合計一万六百四人です。市民の四人に一人が加入していることになります。

年金受給者は四千二百四十人で、給付総額は年間九億五千百六十四万円です。一人平均二十二万四千円給付されていることになります。このうち拠出年金受給者は二千五百七十八人で、給付額は六億七百二十六万円です。福祉年金受給者は一千六百六十二人で給付額は三億四千四百二十八万円となっています。

各年金の受給者数と給付額は、表のようになっています。

感謝状を受ける長谷川さん（右）

年金の状況

受給者数と給付額

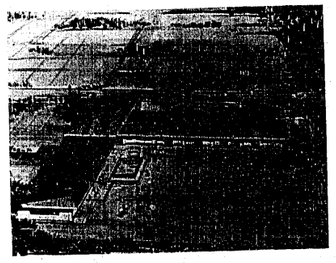
拠出年金	年金の種類	福祉年金
2,421人	老齢	1,451人
53,419万円		28,382万円
97人	障害	211人
5,234万円		6,056万円
36人	母子	—
1,764万円		—
3人	遺児	—
98万円		—
17人	寡婦	—
201万円		—
4人	死亡一時金	—
10万人		—

（S54.7月現在）　（S54.6月現在）

感謝状を贈られた人

長谷川辰三郎（上嘉山）
渡辺末太郎（高森）　中山松四郎（中町）　本田辰三郎（嘉山二）　小林槙作（上黒山）
小沢権作（白新町三）　角田米吉（新発甲二）　佐藤礼次（新井郷）　桜井文次（大瀬柳）　横山郡次（上大口）
吉田政吉（前新田沖）

二葉保育園移転新築工事始まる



来年五月の完成を目標に、新しい二葉保育園の建設工事が始まりました。

現在の保育園は、浦木の大沼ブロック土地改良区事務所裏にありますが、この敷地が県道のバイパス用地になるため、移転新築するものです。新保育園の建設現場は、現在の位置から西百㍍ほど長場寄りで、中学校のすぐ隣です。

新保育園は、鉄骨平家建てで、敷地面積二千九百六十一平方㍍、床面積八百五十八平方㍍となります。現在の保育園に比べて敷地で二・七倍、床面積で一・七倍ほどになります。しかし、園児の定数は完成後も現在と同じ百五十人のため、これまでの手狭な保育園から解放されることになります。

新保育園の用地買収と用地造成は、昨年度に完了していますが、これを含めて本体工事、電気機械設備で一億五千万円近い工事費になります。

（写真は、二葉保育園の完成予想図）

前助役の渡辺さん死去

前助役の渡辺三郎さん（木崎）が、病気のため十月二十八日に亡くなられました。

渡辺さんは、四十六年六月から今年六月まで、二期八年間にわたって助役を務められ市制施行後の市政の発展に努力されました。また渡辺さんは、四十二年三月から助役就任まで町と市の監査委員を務められましたが、長年木崎農協の参事として、農協の経営に手腕を発揮されました。

なお、渡辺さんの遺族の方は、市のために役だててほしいと、五十万円を市に寄託されました。

米消費拡大の標語

最優秀作は伊藤君

今年の水稲作況指数は、下越地方で九八、県全体で九七全国で一〇三と発表され、今後も余剰米が大きな問題になりそうです。

市では、消費者から少しでも多くの米を消費してもらうため、米の消費拡大を趣旨とした標語を募集したところ、四百六十七点の作品が寄せられました。

十月二十七日に農業団体の代表者などで、応募作品を審査し、佳作、入選作、最優秀作を選びましたが最優秀作には、葛塚中学校三年生の伊藤剛君の作品が選ばれました。

佳作以上の作者には、十一月三日、産業祭の会場で賞状と記念品が贈られました。

なお、入選作品は、次のとおりですが、この作品は、今後立看板などに利用され、米の消費拡大に役立てることになります。

最優秀作
○食べ盛り育ち盛りは米一番　葛塚中三年　伊藤　剛

入選作一般の部
○豊栄の名物美人とうまいめし　内沼　坂井　実
○親と子のふれあうホットな手弁当　上土地亀　渡辺正則

入選作中学校の部
○見なおそう米の栄養おいしさを　岡方中三年　曽我桂子
○みなおそう米はみんなのエネルギー　葛塚中二年　竹内真由美

入選作小学校の部
○ごはんを食べる強い子よい子　岡方第一小六年　高橋裕美子
○新潟米みんなでたべてけんこう家族　岡方第一小六年　神田久子

ハウス栽培用ビニールフイルムを回収

市は、ハウス園芸協会に委託して、ハウス用の古いビニールフイルムを回収しました。

ハウス栽培用のビニールフイルム等の古くなったのは捨てられるのが多く、産業公害の一つとして数えられてきました。ところが、このたび長野県内の再生処理工場が、本格的な操業に入ったため、フイルム類の回収を行ったものです。

第一回めの回収は、四地区の青果物集出荷場で行われ、約百トンのフイルム類が集められましたが、今後も年三回、回収する予定です。（写真は回収されたフイルム類の山）

副食も米

米の料理講習会

十月十五日、早通南小学校で、米利用の料理講習会が開かれました。

この講習会は、米の消費拡大をねらって、市と県が開いたもので、講師は県栄養士会会長の斎藤富美さんでした。

参加した人は、団地の奥さんたちが二十人余りで、いろいろの材料を使って、主食にも副食にも米を使う調理方法などを勉強しました。

（写真は講習会風景）

県切花共進会

渡辺さんに県知事賞

第一回新潟県切花共進会が十月二十日と二十一日に新潟市で開かれ、内島見の渡辺一男さんが、みごとに県知事賞を射止めました。県知事賞を射止めたのは大菊で、品種は肌雪でした。また豊栄市長賞は、内島見の小林義雄さんの大菊が射止めました。

このほか、市内からは金賞四人、銀賞二人、銅賞十人が入賞し、入賞者六十人のうち市内の入賞者が十八人を占めました。

なお、この共進会は、これまでの新潟近郊花の展覧会が発展的に改組されたものです。

これがお米のほんとの話

食糧庁グラビアニュースから

「ご飯を食べるとふとる」——これは間違いです。

最近は食生活が多様化し、肉、卵、乳製品、果実など栄養価の高い食品を多くとるようになりました。問題は、食べるカロリーと使うカロリーのバランスで、肥満の原因は食べ過ぎと運動不足です。ご飯がふとる原因と考えるのは間違いです。

「ご飯を食べると高血圧になる」——これは間違いです。

ご飯から高血圧の原因になるものは、なに一つ発見されていません。高血圧の原因が塩分のとり過ぎにあることは常識です。日本では、昔から塩辛いおかずが多く、自然と塩分のとり過ぎになっていたのです。高血圧をご飯のせいにするのは、間違いです。

「ご飯を食べると糖尿病になる」——これは間違いです。

糖尿病の増加は、日本人の食生活が多様化し、欧米風の食事が増えたことが、大きな原因です。欧米では、むしろ糖尿病予防のため、米など穀物類をとる傾向が強くなっているようです。ご飯を中心に栄養のバランスがとれた食事をするように心がけましょう。